

大学教育と LGBT

基礎知識と 取り組む意味

講師：河野禎之先生
(筑波大学人間系)

講演 要旨

LGBT (Lesbian・Gay・Bisexual・Transgender 及び他のセクシュアリティを含む総称として) や SOGI (Sexual Orientation and Gender Identity: 性的指向及び性自認の多様性を意味する用語) という言葉がメディアで頻りに扱われているように、セクシュアリティの多様性(性の多様性)を巡る課題は、現在の社会的課題として認知され始めています。大学においても、多様なセクシュアリティを有した学生が存在することを前提とした教育体制が求められ始めています。筑波大学は、平成29年3月に全国の大学に先駆けて大学としての基本理念と対応ガイドラインを策定しました。今回のFDでは、LGBT/SOGIに関する基本的な知識とともに、大学教育のLGBT/SOGIの課題に取り組む意味、その際の留意点について共有する機会となることを目指します。

日時 会場

12月2日 月

16:00~18:00

筑波大学 つくばキャンパス
総合研究棟D115

講演終了後の18:00より、1時間ほど講師を囲んで茶話会を予定しています。

申込

参加費は無料です。どなたでもご参加ください。
問い合わせは以下まで。

ヒューマン・ケア科学専攻 事務室

e-mail human_jimu@yahoo.co.jp



講師プロフィール：筑波大学人間系助教／ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター兼務。臨床心理士。専門の研究テーマは認知症だが、LGBT等の当事者学生との出会いから筑波大学のセクシュアリティ・マイノリティに関する支援体制の構築のとりまとめを行う。LGBT等の学生相談の開設／相談担当、筑波大学の基本理念と対応ガイドラインの策定とりまとめ、日本学生支援機構や茨城県への指導・助言、大学間ネットワーク (University Diversity Alliance : UDA) の立ち上げ等を実施してきた。大学院担当は、生涯発達専攻リハビリテーションコース (夜間) 及びヒューマンケア科学専攻。現在では高齢期におけるLGBT等を巡る課題や、LGBT等に関する意識啓発プログラムの開発と評価等を含めた研究にも取り組む。